

## 特別賞

### 生き物を大事にしよう

御成門中学校 串橋 怜美

私の小学校ではうさぎを飼育したり、朝顔を覚えてたりと、生き物と触れ合う機会を多く作っています。その他にも生徒自身が持ってきた虫や動物なども先生の許可を得れば教室で飼うことができたりと、自然や生き物を身近に感じることができました。また、地域では、ゴミ拾いのボランティアもやっております、これも生き物と関わり合う活動の一つでもあるでしょう。

生き物を大事にするということは、自然の生態系や汚染問題など、つまり地球温暖化に関わってきます。心一つだけで夕食の残飯は増え、捨て猫、捨て犬が増え、大変なことになってしまいます。ゴミが増えるとそれらを燃やすためにCO<sub>2</sub>が多く排出されます。犬や猫のみならず、川に外来魚が捨てられるとその川の生態系が崩れてしまいます。もしみんなが生き物を大事にしなかったら地球温暖化はもっと進んでしまうでしょう。

また、生き物を大事にするには、地域と触れ合うことでもありますが私は思います。三年前まで私の最寄駅の花壇は雑草や枯れ葉などが多く、花壇とは言えない様子でした。しかし、ボランティアで花や草が植えられ、朝の忙しい通学時間も以前より明るいものになりました。私もこのボランティアに参加し、たくさんの方と触れ合うことができました。ボランティアには高齢の方の参加が多く、私に良い土の作り方や花の植え方などを丁寧に教えてくれました。生き物を大事にすることが地域との触れ合いということではないけれど、そのような関わり方も大事だと思います。

多くの人が「生き物を大事にしよう」と言うのはなぜでしょうか。私は生き物を大事にしない人がいるからだだと思います。では、なぜそのような人は生き物を大事にしないのでしょうか。例えば学校の花壇を荒らす人、家で動物虐待する人はなぜそのようなことをするのでしょうか。多くの場合は、ストレスによるイライラややつあたりだと思います。私はストレスをそのようなことで解決するのではなく、運動や読書などで解消した方が良いと思います。やつあたりもそのへんの生き物にあたるのではなく、理由を考え、自分を直していくことが大切だと思います。

生き物を大事にすることは重要です。また、私は生き物は大事にしなくては

いけないものであるとも思います。一緒に生きていく限り、生き物を粗末に扱ってはいけないと私は思います。